

授業科目

救急救命特講III

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 松岡 輝彦 | 対象学年 | 4 | 対象学科 | 救急 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ◎ | ○ | ○ | |

授業の概要

救急救命士には、その活動内容から医学的知識・技能に加えて社会や環境、対人関係の調整・構築、言語・表現、機器・器材構造などさまざまな領域に関する知識と、それらに基づく柔軟な発想や思考、迅速な決断を行うなどの応用能力が求められる。本科目では、救急救命特講Iで身につけた対人関係の調整・構築、言語・表現、機器・器材構造などに関する国語的および数理的分野における知識をもとに、さらに発展させた応用能力を養うために必要な知識を学習する。

授業の目的

救急救命特講Iで身につけた対人関係の調整・構築、言語・表現、機器・器材構造などに関する国語的および数理的分野における知識をもとに、さらに発展させた応用能力を養うために必要な知識を修得する。

学習目標

救急救命特講Iで身につけた対人関係の調整・構築、言語・表現、機器・器材構造などに関する国語的および数理的分野における知識をもとに、さらに発展させた応用能力を養うために必要な知識を修得する。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|----------------------------|--------------|-------|
| 1 | 対人関係の調整・構築 発展(1) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 2 | 対人関係の調整・構築 発展(2) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 3 | 対人関係の調整・構築 発展(3) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 4 | 対人関係の調整・構築 発展(4) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 5 | 対人関係の調整・構築 発展(5) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 6 | 言語・表現 発展(1) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 7 | 言語・表現 発展(2) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 8 | 言語・表現 発展(3) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 9 | 言語・表現 発展(4) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 10 | 言語・表現 発展(5) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 11 | 機器・器材構造とその理解 発展(1) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 12 | 機器・器材構造とその理解 発展(2) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 13 | 機器・器材構造とその理解 発展(3) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 14 | 機器・器材構造とその理解 発展(4) | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 15 | 機器・器材構造とその理解 発展(5) および まとめ | 講義 | 松岡 輝彦 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|---------------|-----|-----|-----|----|-----|
| 教科書 | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | |
| その他の資料 | 必要に応じて資料を配付する | | | | | |

評価方法

- 1.筆記試験(100%)。
- 2.必要に応じてレポートを課す。期限内にレポート提出ができない場合は評価点より減点する。
- 3.筆記試験が不合格の場合は1回のみ再試験を行なう。

履修上の留意点

以下に挙げる場合は、科目試験の判定を放棄したものとみなす。

1. 1～14回のうち5回以上の欠席がある場合。
2. 授業態度不良と判断された場合。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。